



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 イー・ギランティ株式会社

コード番号 8771 URL <http://www.eguarantee.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江藤 公則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 郵井 望

TEL 03-6327-3577

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	986	6.4	355	19.7	359	19.2	204	20.0
26年3月期第1四半期	927	3.7	296	7.4	301	7.6	170	4.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 233百万円 (23.5%) 26年3月期第1四半期 189百万円 (9.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	19.94	19.47
26年3月期第1四半期	16.70	16.13

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第1四半期	8,015		5,174	55.4		433.51
26年3月期	8,483		5,251	52.5		434.88

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 4,441百万円 26年3月期 4,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	2,000	7.8	690	10.5	700	10.5	420	18.1	41.03
通期	4,200	12.4	1,530	17.7	1,550	17.5	900	27.5	87.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	10,246,200 株	26年3月期	10,236,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	160 株	26年3月期	160 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	10,236,589 株	26年3月期1Q	10,184,607 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられたものの、基調としては緩やかな回復を続けておりますが、海外景気の下振れの懸念等、依然として予断を許さない状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境を見ますと、当第1四半期連結累計期間における企業倒産件数は2,438件となっており、四半期別では9期連続の前年同期比減少(帝国データバンク調べ)となるなど、依然として倒産は抑制されている状況にあります。

このような環境下、信用リスク保証サービスは引き続き堅調に推移いたしました。販売チャネルとの関係強化や販路拡大に向けた施策を実行し、新たなチャネルとして岡崎信用金庫、株式会社大東銀行と提携致しました。また、交通銀行股份有限公司東京支店との業務提携を行い、中国向け海外輸出債権の保証サービスを強化するなど、海外事業の基盤強化に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高986,951千円(前年同期比6.4%増加)、営業利益355,405千円(前年同期比19.7%増加)、経常利益359,025千円(前年同期比19.2%増加)、四半期純利益204,096千円(前年同期比20.0%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて5.5%減少し、8,015,631千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.7%減少し、6,209,631千円となりました。これは、現金及び預金が502,904千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、1,806,000千円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて12.1%減少し、2,841,341千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13.2%減少し、2,580,957千円となりました。これは、前受金が262,755千円、未払法人税等が205,943千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、260,383千円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、5,174,290千円となりました。これは、少数株主持分が61,607千円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成26年5月14日に公表いたしました売上高4,200百万円、営業利益1,530百万円、経常利益1,550百万円、当期純利益900百万円から変更はございません。今後の経済情勢及び業績の推移により、通期の見直しについて見直しが必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を当第1四半期連結会計期間より適用しておりますが、従来採用していた方法により会計処理を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,827,915	4,325,011
売掛金	23,893	21,592
前払費用	1,492,506	1,548,455
繰延税金資産	163,673	163,673
未収入金	32,256	27,931
その他	115,467	122,967
流動資産合計	6,655,713	6,209,631
固定資産		
有形固定資産	91,672	91,079
無形固定資産	46,075	36,408
投資その他の資産		
投資有価証券	1,536,713	1,532,317
その他	153,020	146,194
投資その他の資産合計	1,689,734	1,678,512
固定資産合計	1,827,481	1,806,000
資産合計	8,483,194	8,015,631
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,253	2,387
1年内返済予定の長期借入金	44,904	44,904
未払法人税等	313,716	107,773
保証履行引当金	291,598	293,478
賞与引当金	95,000	62,198
前受金	1,970,032	1,707,277
その他	253,490	362,938
流動負債合計	2,971,995	2,580,957
固定負債		
長期借入金	136,765	136,765
役員退職慰労引当金	123,065	—
長期未払金	—	123,617
固定負債合計	259,831	260,383
負債合計	3,231,827	2,841,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,451,874	1,455,819
資本剰余金	861,874	865,819
利益剰余金	2,401,831	2,380,734
自己株式	△264,149	△260,580
株主資本合計	4,451,431	4,441,791
新株予約権	23,459	17,629
少数株主持分	776,476	714,869
純資産合計	5,251,367	5,174,290
負債純資産合計	8,483,194	8,015,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	927,911	986,951
売上原価	303,873	243,012
売上総利益	624,037	743,939
販売費及び一般管理費	327,168	388,533
営業利益	296,869	355,405
営業外収益		
受取利息	3,942	7,042
為替差益	888	-
営業外収益合計	4,830	7,042
営業外費用		
支払利息	17	15
持分法による投資損失	562	3,407
営業外費用合計	580	3,422
経常利益	301,119	359,025
特別利益		
新株予約権戻入益	-	2,591
保険解約返戻金	-	3,581
特別利益合計	-	6,172
税金等調整前四半期純利益	301,119	365,198
法人税等	112,080	131,713
少数株主損益調整前四半期純利益	189,039	233,484
少数株主利益	18,974	29,388
四半期純利益	170,064	204,096

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	189,039	233,484
四半期包括利益	189,039	233,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,064	204,096
少数株主に係る四半期包括利益	18,974	29,388

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。